様式１－１

文化遺産総合活用推進事業　実施計画

1 都道府県・市区町村名	鹿児島県	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」 集成館事業活用事業	【計画の改善時期】 平成　　年度	
4 実施計画期間	平成　30　年度　　～　　平成　32　年度		

5 実施計画の概要

鹿児島県では，平成２９年度に策定する新たな県政ビジョンにおいて，世界遺産などの地域資源を戦略的に活用し，国内外からの誘客や受入体制整備に取り組むこととしている。
また，平成２９年１２月１日にユネスコに提出する保全状況報告書においても，資産の価値や産業システムを現地で理解できる受入環境の充実が位置づけられている。
これらを踏まえ，世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の本県に所在する構成資産の中心をなす集成館事業について「明治日本の産業革命遺産」全体の価値に沿った効果的なインタープリテーションを行い，国内外の来訪者の理解を深め，併せて受入体制整備と資産内での周遊を促進する下記取組を実施する。

事業内容
①「明治日本の産業革命遺産」全体の価値と集成館事業の役割，第二期集成館事業に関するＡＲを活用した多言語解説機能を備えたコンテンツを制作する。

②ＡＲを活用した多言語解説機能を備えたコンテンツを活用し，来訪者に第一期集成館事業と第二期集成館事業の変遷をわかりやすく理解してもらい，周遊を促すための取組を実施する。

6 実施体制

鹿児島県が特定非営利活動法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会と連携しながら，本実施計画に係る全体の企画・調整や，各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課，役割は以下のとおり。
・鹿児島県PR・観光戦略部世界文化遺産課：補助事業全体に係る企画・調整，関係機関との連絡・調整等
・特定非営利活動法人　まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会：各事業の実施に係る指導
また，補助事業は次の団体が実施する。鹿児島市教育委員会文化財課・世界遺産推進室の協力も得ながら実施する。
・「明治日本の産業革命遺産」集成館事業関連資産活用事業実行委員会（委員長：東川隆太郎）
構成団体（鹿児島県PR・観光戦略部世界文化遺産課，NPO非営利法人かごしま探検の会）

7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	（1）補助金額	～平成29年度交付決定額：　0　千円	平成30年度要望額：　12,857　千円
	（2）実施事業の概要	別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

本計画に基づく事業の実施により，「明治日本の産業革命遺産」における集成館事業の役割，第一期集成館事業と第二期集成館事業の関係性とその変遷への理解が深まり，保全への意識が向上し，当遺産の保存と次世代への確実な継承が期待できる。また，地域NPOとの連携を通じ，地域活性化における相乗効果が期待できる。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	なし
事業概要：	
事業概要：	

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

なし

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	鹿児島県PR・観光戦略部世界文化遺産課（管理保全班）

7 実施計画における目標と期待される効果　別紙

目標区分１：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分１：	地域の文化遺産への来場者数　（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標１：	集成館地区への来場者総数		関連事業：	①，②，③		
目標値１：	【現状値】 平成 29 年度 440,000 （人） ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 466,400 （人）					
設定根拠１：	平成29年度来場者見込み数44万人に対し，年間伸び率２％を設定					
進捗状況１：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成　年度	平成　年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	

様式１－１別紙②

8（2）実施事業の概要　別紙

事業①：	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」構成資産アプリコンテンツ作成事業	実施団体：	「明治日本の産業革命遺産」集成館事業活用事業実行委員会
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成　30　年度　～　平成　30　年度
事業概要：	集成館事業に関するARを活用した多言語対応のスマートフォンアプリに，「明治日本の産業革命遺産」全体の価値と集成館事業の役割及び第二期集成館業に関するARを活用した多言語解説機能を備えたコンテンツを追加するとともに，それらのコンテンツを活用し，来訪者に第一期集成館事業と第二期集成館事業の変遷をわかりやすく理解してもらうための取組を行う。		
評価指標区分：	・アプリ等の利用者数	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	集成館事業に関するスマートフォンアプリコンテンツへのアクセス数		
目標値：	【現状値】　平成　29　年度　0　PV　⇒　【目標値】　平成　32　年度　5,000　PV		

進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成　年度	平成　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度
PV	PV	PV	PV	PV	PV

事業②：	世界遺産シンポジウム開催事業	実施団体：	「明治日本の産業革命遺産」集成館事業活用事業実行委員会
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成　30　年度　～　平成　30　年度
事業概要：	ARアプリのコンテンツを活用し，「明治日本の産業革命遺産」の価値と集成館事業の役割や，第一期集成館事業から第二期集成館事業への歴史的背景，技術的推移についての理解を深める。		
評価指標区分：	・その他	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	シンポジウム参加者に対するアンケートによる集成館の価値と変遷に対する関心・理解度の深まり		
目標値：	【現状値】　平成　29　年度　0　%　⇒　【目標値】　平成　32　年度　80　%		

進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成　年度	平成　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度
%	%	%	%	%	%

事業③：	集成館通訳ガイドレベルアップ事業	実施団体：	「明治日本の産業革命遺産」集成館事業活用事業実行委員会
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成　31　年度　～　平成　32　年度
事業概要：	集成館通訳ガイド向けに，ARアプリを活用した集成館事業の解説に関するテキストを作成するとともに，同テキストを活用したレベルアップ研修を実施し，インバウンドの受入体制を整備する。		
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	レベルアップ研修受講者で，研修終了後に活動する者の数。		
目標値：	【現状値】　平成　29　年度　0　人　⇒　【目標値】　平成　32　年度　20　人		

進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成　年度	平成　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度
人	人	人	人	人	人